

平成25年度 十日町・中魚 生活部 活動報告

部長 池田 一三

1 研究主題

新学習指導要領改訂の趣旨を生かした指導の工夫

～総合・生活における小・中連携を視野に入れた活動の推進～

2 研究の概要

十日町市、津南町では、小学校と中学校との連携を意識し、生活科と総合的な学習を専門教科として研究し各学校で推進できる人材を育成したいと考える。それには小学校低学年の生活科と3年生以上の総合的な学習の時間とのかかわり、また小学校の学びと中学校の総合的な学習の時間とのつながりを熟知して実践することが大切である。そこで、生活部と総合部をまとめて総合・生活部とし、一同が集まる一斉研修日を設けた。

教育課程研究集会の報告会と情報交換会の研修と、授業研究会を開催して、部員各々が力量を高めて自校で推進していく。

3 研究の実際

○ 全員一斉研修会 総合・生活部会 8月23日 教育会館にて 午後日程

①教育課程研究集会参加者による報告会

- ・新学習指導要領総則（全体にかかわる内容） ---- 津南小 渡邊 進教諭
- ・小学校生活科 ----- 水沢小 大塚 宏美教諭
- ・小学校総合的な学習の時間 ----- 津南小 渡邊 進教諭
- ・中学校総合的な学習の時間 ----- 吉田中 藤木 雅彦教諭

②5グループで情報交換会 小中9年間を見通した生活科・総合学習のあり方

○ 総合的な学習の時間 授業研究会 10月25日 十日町市立十日町小学校

①公開授業 4学年総合的な学習の時間 テーマ「心のバリアフリー」

②授業者 藤田 剛教諭 阿久津 愛教諭

③協議会 10グループに分かれて協議 （参加者59名）

4 成果と課題

教育課程研究集会の報告会では参加者が資料やパワーポイントを用意して、ポイントを押さえた報告で中身の濃い研修となった。小中学校の連携についての情報交換では、小学校低学年担任、3年生以上の担任、中学校教員でグループを構成し、小学校での学びをどのように中学校の総合学習につなげるか課題意識をもって研修することができた。

授業研究会は、「教育と時間研究会」との共催で開催された。4学年の児童がふれあいの丘支援学校の友達との交流活動について活発に話し合っていた。授業後の協議会では、会員に加え、他団体の方からも様々な視点から意見が出され、有意義な研修ができた。

文化祭前で、参加できない会員がいたので、日程等について考慮が必要だった。